

資料

I. はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

問1 年代 (○は1つ)

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60代 6 70代以上

問2 性別 (○は1つ)

- 1 男性 2 女性

問3 現在のキャリアコンサルタントとしての主な活動地域(勤務地)はどこですか。(○は1つ) ※複数の都道府県で活動している場合は、最も頻繁に活動している地域を1つ選択してください。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|------------|---------|
| 1 北海道 | 2 青森県 | 3 岩手県 | 4 宮城県 | 5 秋田県 |
| 6 山形県 | 7 福島県 | 8 茨城県 | 9 栃木県 | 10 群馬県 |
| 11 埼玉県 | 12 千葉県 | 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 |
| 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 | 19 山梨県 | 20 長野県 |
| 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 | 25 滋賀県 |
| 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 |
| 36 徳島県 | 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 |
| 41 佐賀県 | 42 長崎県 | 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 |
| 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | 48 国外 | 49 活動していない | |

問4 所有されている資格について、該当するものすべてをチェックしてください。(○はいくつでも)

- 1 1級キャリアコンサルティング技能士
- 2 2級キャリアコンサルティング技能士
- 3 キャリアコンサルタント資格(平成28年度以降の試験合格して登録)
- 4 キャリアコンサルタント資格(経過措置で登録)
- 5 旧制度の標準レベルのキャリア・コンサルタント資格
- 6 産業カウンセラー
- 7 心理相談員
- 8 コーチング資格
- 9 臨床心理士
- 10 認定心理士
- 11 教育カウンセラー
- 12 教育職員免許
- 13 社会福祉士(ソーシャルワーカー)
- 14 精神保健福祉士
- 15 衛生管理者
- 16 医師・看護師・保健師
- 17 社会保険労務士
- 18 中小企業診断士
- 19 税理士
- 20 ファイナンシャル・プランナー
- 21 関連資格は持っていない

問5 いちばん初めにキャリアコンサルタント関連資格（キャリアコンサルティング技能士、キャリアコンサルタント資格）を取得したのは、もともとどのような理由からでしたか。（○はいくつでも）

- 1 仕事上必要だったため
- 2 専門能力を高めるため
- 3 職業人生の将来に備えるため
- 4 この分野に興味があったため
- 5 勤務先からの指示や勧めがあったため
- 6 就職（転職）に有利だと思ったため
- 7 起業するため
- 8 人脈（ネットワーク）作りのため
- 9 定年後経験を活かして社会貢献するため
- 10 収入を増やすため
- 11 社内での地位向上、昇進のため
- 12 より有意義なキャリアコンサルティングを行うため
- 13 その他（ ）

問6 キャリアコンサルティングにおける対応可能領域をお聞かせください。
また、現在の主な活動の場を教えてください。

	対応可能な領域（○はいくつでも）	現在の主な活動の場（○は1つ）
1) 企業		
2) 学校・教育機関（キャリア教育）		
3) 需給調整機関（派遣、ハローワーク）		
4) 地域（地域若者サポートステーション、女性センター等）		
5) その他（具体的に ）		
6) なし		

問7 キャリアコンサルティングにおける得意分野（専門分野）をお聞かせください。（○はいくつでも）

- 1 非正規雇用社員
- 2 女性
- 3 中高年
- 4 若年者
- 5 大学生
- 6 高校生・中学生
- 7 小学生
- 8 障がい者
- 9 生活困窮者
- 10 人材育成
- 11 キャリアデザイン
- 12 組織開発支援
- 13 ジョブ・カード作成支援
- 14 その他（具体的に ）

Ⅱ. あなたの就労状況や勤務先についておうかがいします。

問1 現在の就労状況をお聞かせください。(○は1つ)

- 1 勤務先あり 問2に飛びます
 - 1-1 正社員
 - 1-2 非正規社員
 - 1-3 経営・管理職
- 2 フリー・自営 問6に飛びます
 - 2-1 キャリアコンサルタントとしてフリー・自営
 - 2-2 キャリアコンサルタント以外でフリー・自営 (具体的に)
- 3 ボランティア(勤務先あり、フリー・自営の方以外) 問6に飛びます
 - 3-1 キャリアコンサルタントとしてボランティア
 - 3-2 キャリアコンサルタント以外でボランティア
- 4 無職

問2 「勤務先あり」をチェックした方に引き続きお尋ねします。現在の職場の業種を選択してください。(○は1つ)

- 1 建設業
- 2 製造業
- 3 電気・ガス・熱供給・水道業
- 4 情報通信業
- 5 運輸業・郵便業
- 6 卸売業・小売業
- 7 金融業・保険業
- 8 不動産業・物品賃貸業
- 9 学術研究・専門技術サービス業
- 10 宿泊業・飲食サービス業
- 11 生活関連サービス業・娯楽業
 - 12 教育、学習支援 高等教育機関(大学・短大・高専・専修学校)
- 13 教育、学習支援 上記以外の「教育、学習支援業」
- 14 医療、福祉
- 15 複合サービス事業(協同組合など)
- 16 その他のサービス業 職業紹介・労働者派遣業
- 17 その他のサービス業 上記以外の「その他のサービス業」
- 18 公務 職業相談・職業紹介
- 19 公務 上記以外の「公務」
- 20 その他

問3 「勤務先あり」をチェックした方に引き続きお尋ねします。職種を選択してください。(○は1つ)

- 1 (主に) キャリアコンサルタントの仕事
- 2 人事・総務・事務・管理
- 3 営業
- 4 企画・マーケティング
- 5 サービス・販売
- 6 技術・研究職
- 7 クリエイティブ(メディア・アパレル・デザイン)
- 8 その他(具体的に)

問4 「勤務先あり」をチェックした方に引き続きお尋ねします。勤務先の全従業員数を選択してください。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1 29人以下 | 2 30~49人 | 3 50~99人 | 4 100~299人 |
| 5 300~499人 | 6 500~999人 | 7 1,000人以上 | |

問5 「勤務先あり」をチェックした方に引き続きお尋ねします。現在の役職を選択してください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|---------------|-----------|
| 1 経営者 | 2 役員 | 3 部長相当職 |
| 4 課長相当職 | 5 係長、主任、職長相当職 | 6 役職は特になし |
| 7 その他 () | | |

問6 全員にお尋ねします。あなた個人の最近1年間のおおよその税込み年収をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 なし | 2 0~200万円未満 |
| 3 200~400万円未満 | 4 400~600万円未満 |
| 5 600~800万円未満 | 6 800~1,000万円未満 |
| 7 1,000~1,200万円未満 | 8 1,200~1,400万円未満 |
| 9 1,400~1,600万円未満 | 10 1,600~1,800万円未満 |
| 11 1,800~2,000万円未満 | 12 2,000万円以上 |

問7 現在、あなたは「キャリアコンサルティングに関連する活動」をしていますか。(○は1つ)

「キャリアコンサルティング」とは

■「キャリアコンサルティング」とは、労働者の職業の選択、職業生活設計又は職業能力の開発及び向上に関する相談に応じ、助言及び指導を行うことをいいます(職業能力開発促進法第2条第5項)。おおむね、「キャリア(職業人生や進路など)」に関する相談をはじめとする支援活動全般をいいます。

■個人に対する相談だけでなく、グループワーク等のグループを活用した支援、キャリア形成に関するガイダンス・セミナー等の講師、企業の職業能力・キャリア形成に関する制度の設計・運用や、学校のキャリア教育プログラムの設計・運用等まで含む概念です。(ここでは自己研鑽・能力向上のためのセミナーや研修等への参加などは含みません)

■本調査では、これらの活動を「キャリアコンサルティングに関連する活動」と表記し、お伺いします。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 ほぼ毎日活動している | 2 週2~3回程度活動している |
| 3 週1回程度活動している | 4 不定期に活動している |
| 5 活動していない | |

→1~4は「Ⅲ.「キャリアコンサルティングに関連する活動」の内容についてお伺いします。」

へ

→5は「Ⅴ. キャリアコンサルティングに関連する活動を行っていない理由等についてお伺いします。」へ

Ⅲ. 「キャリアコンサルティングに関連する活動」の内容についてお伺いします。

問1 現在、専ら「キャリアコンサルティングに関連する活動」に携わっていますか（専任・専業）、それともそれ以外の活動とあわせて携わっていますか（兼任・兼業）。いずれか1つを選択してください。

なお、「2 兼任・兼業である」場合、業務（活動）全体の中で「キャリアコンサルティングに関連する活動」が全体に占める割合（%）を数字で記入してください。（○は1つ→割合で記入）

- 1 専任・専業である
- 2 兼任・兼業である → 全体の約_____ %

問2 「キャリアコンサルティングに関連する活動」の通算年数をお聞かせください。

- 1 1年未満
- 2 1年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上

問3 「キャリアコンサルティングに関連する活動」で生計を立てていますか。（○は1つ）

- 1 「キャリアコンサルティングに関連する活動」だけで、生計を立てている
- 2 「キャリアコンサルティングに関連する活動」で、主に生計を立てている
- 3 「キャリアコンサルティングに関連する活動」以外で、主に生計を立てている
- 4 「キャリアコンサルティングに関連する活動」以外だけで、生計を立てている

問4 直近1年間の「キャリアコンサルティングに関連する活動」を内容別にみた場合、それぞれの活動時間はどのくらいですか。おおよそで構いませんので割合（%）で記入してください。全体を合計して100%になるように、数字を割り当ててください。（数字を記入）

相談、面談、カウンセリング	%
セミナー、研修、授業の講師	%
それ以外	%
全体	100%

問5 キャリアコンサルタント資格を活かして、他にどのような活動を行っていますか。

※キャリアコンサルタント資格を活かしていると思われる活動については、どのようなことでも良いですので、ご自由にお書きください。（自由記述）

<150文字以内>

IV. キャリアコンサルティングの相談内容についてお伺いします。

問1 直近1年間の「キャリアコンサルティングに関連する活動」のうち、個人に対して行った相談の内容についてお伺いします。

【1】相談内容として多いのはどのようなものですか。(○は上位3つ)

【2】対応が最も難しいと感じる相談内容はどのようなものですか。(○は1つ)

	多い相談 (上位3つ)	対応が最も難しいと感じる 相談(1つ)
1)現在の仕事・職務の内容		
2)今後の生活設計、能力開発計画、キャリア・プラン等		
3)企業内の異動希望等		
4)職場の人間関係		
5)部下の育成・キャリア形成		
6)就職・転職活動の進め方		
7)将来設計・進路選択		
8)過去の経験の棚卸し、振り返り等		
9)履歴書やエントリーシートの書き方・添削等		
10)職業適性・自己分析		
11)面接の受け方		
12)個人的な生活面に関すること(家庭生活や人間関係など)		
13)学生生活に関すること(授業やゼミの選択など)		
14)メンタルヘルスに関すること		
15)発達障害に関すること		
16)その他		

問2 直近1年間の「キャリアコンサルティングに関連する活動」のうち個人に対して行った相談で、最も難しいと感じた相談(1回分)を思い出して、以下の問いにお答え下さい。

・その相談はどのようなものでしたか。特に難しさを感じた点について簡潔にお答えください。(自由記述)

<150文字以内>

・上記の相談の難しさは、何に起因すると思いますか。以下の4つの視点から1つ○をつけてお答えください。(○は1つ)

- 1 キャリアコンサルタントである自分の能力・スキルや知識・経験などの不足
- 2 相談者の問題解決に対する自覚・意欲や能力などの不足
- 3 キャリアコンサルタントである自分と相談者の問題解決に向けた協働関係の不足
- 4 相談者を取り巻く職場、学校、家庭などの環境(風土、人間関係、制度など)

・その相談はあなたにとってどの程度うまく対応できたと思いますか？（○は1つ）

- 1 問題なく対応できた
- 2 なんとか対応できた
- 3 うまく対応できなかった
- 4 ほとんど対応できなかった

・その相談に対して当時はどのように対応しましたか？（自由記述）

<150文字以内>

問3 あなたは、キャリアコンサルティングにおける面談において、いつもどのようなことを重視しながら実施していますか。あてはまるものに1つ○をつけてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	かなり重視している	やや重視している	どちらとも言えない	あまり重視しない	ほとんど重視しない
1)問題の原因を見定めて、それが除去されるように働きかける					
2)話をよく聴いて感情表現を促し、相談者の気持ちに寄り添う					
3)相談者が持つ価値観や欲求などに気づいてもらうように促す					
4)問題や状況に対する認知や意識が変容するように働きかける					
5)将来像やゴールを明確にして、その達成に必要な行動を促す					
6)より意味のあるキャリアのストーリーを語れるように促す					
7)問題解決に必要と思われる知識・情報・ハウツーを提供する					
8)相談者とその周囲の関係調整や、外部リソースの活用を図る					

→「Ⅵ. キャリアコンサルタントとしての能力の維持・向上等についてお伺いします。」へ

VI. キャリアコンサルタントとしての能力の維持・向上等についてお伺いします。

問1 更新講習の受講状況をお書きください。(○は1つ)

- 1 知識講習を受講した
- 2 技能講習を受講した
- 3 知識・技能講習とも受講した
- 4 まだ受講していない。

問2 キャリアコンサルタントとしての自身の能力を維持・向上させるため、どのようなことをしていますか。(○はいくつでも)

- 1 キャリアコンサルティングに関する上位資格・関連資格の取得に向けた準備
- 2 キャリアコンサルティングに関する研修会・勉強会等への参加または実施
- 3 キャリアコンサルティングに関するスーパーバイザーによる助言・指導を受ける
- 4 所属する組織内外の専門家との交流
- 5 相談実務の経験を積む
- 6 特に何もしていない

問3 キャリアコンサルタント同士で、情報交換や交流のネットワークをお持ちですか。(○はいくつでも)

- 1 定期的に連絡を取り合っている
- 2 自主的な勉強会などに参加している
- 3 共同でキャリアコンサルティングに関する活動をしている
- 4 特に情報交換や交流のネットワークはない

問4 今後、キャリアコンサルタントが活躍しやすい環境を作るためには、どのような対策が最も効果的だと思いますか。(○は1つ)

- 1 組織(企業、教育機関等)への啓発活動を充実する
- 2 個人(クライアント、支援対象者)の認知度を高める活動を充実する
- 3 スーパーバイザーから助言・指導を受けることができる体制を整備する
- 4 キャリアコンサルティングを実施する上での相談窓口を設置する
- 5 キャリアコンサルタント自身が能力を向上できる機会を全国的に提供する
- 6 関係者の交流や情報交換の機会を増やす
- 7 キャリアコンサルタント自身がキャリアパスを考える機会を増やす

問5 今後、キャリアコンサルタントが活躍しやすい環境を作るために、上記の他にどのような対策が効果的だと思いますか。ご自由にお書きください。(自由記述)

<150文字以内>

問6 現在、あなたは、キャリアコンサルタント関連の会員組織に所属していますか

- 1 所属している
- 2 所属していない

1で「所属している」と答えた方に伺います。所属している団体の種類を教えてください（○はいくつでも）

- 1 自分がキャリアコンサルタント養成講座・養成講習を修了した団体
- 2 1以外のキャリアコンサルタント養成団体
- 3 キャリアコンサルティング関連の学会
- 4 キャリアコンサルティング技能士会
- 5 その他（具体的に ）

VII. キャリアコンサルティングやキャリアコンサルタントに関するあなた自身のお考えについてお伺いします。

問1 「キャリアコンサルタント」としての自分の活動に満足していますか（○は1つ）

- 1 とても満足している
- 2 やや満足している
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない

問2 「キャリアコンサルタント」の資格は、あなたの日々の仕事や生活に役立っていますか。

（○は1つ）

- 1 とても役立っている
- 2 やや役立っている
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまり役立っていない
- 5 ほとんど役立っていない

問3 あなたが「キャリアコンサルティングに関連する活動」を行う上で、課題であると感じるのはどのようなことですか。（○はいくつでも）

- 1 自身が所属する組織のトップ層の理解が十分ではない
- 2 自身が所属する組織の現場管理者の理解が十分ではない
- 3 キャリア形成支援に対する関係者間の連携を図るのが難しい
- 4 相談・支援を行う環境（場所）が整っていない
- 5 支援対象者に相談・支援を受けるゆとりがない
- 6 支援対象者が消極的であったり、相談に来るのをためらったりする
- 7 支援対象者が所属する組織の理解が十分でない
- 8 キャリアコンサルタントとしての自分自身の力量が十分でない
- 9 キャリアコンサルタントの組織内における立場や権限、受け持ち範囲が明確でない
- 10 キャリアコンサルタントとしての自身の処遇（就業形態、報酬等）が十分でない
- 11 「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」というものが知られていない
- 12 その他（ ）
- 13 特に課題であると感じることはない

問4 これからの社会における新しいキャリアコンサルタントとして、以下の事柄は、今後どのくらい必要になると感じますか。

【1】必要となるのは、どれだと感じますか。(○は上位3つ)

【2】なかでも特に必要となるのは、どれだと感じますか。(○は1つ)

	必要となる	特に必要となる
専門領域別のキャリアコンサルタント (企業、学校、ハローワーク、その他の転職支援会社などの専門領域別)		
業種別・業界別のキャリアコンサルタント		
コーチングやリーダー養成を専門とするキャリアコンサルタント		
組織開発や組織文化に取り組むキャリアコンサルタント		
地域の企業や自治体、学校等と連携して活動するキャリアコンサルタント		
メンタルヘルスなどの問題を専門とするキャリアコンサルタント		
発達障害・精神障害などを専門とするキャリアコンサルタント		
ハラスメントの問題に専門的に関わるキャリアコンサルタント (セクハラやパワハラなど)		
ダイバーシティ、多文化の問題に関わるキャリアコンサルタント (ジェンダーや外国人の問題など)		
個人のキャリア発達・キャリア構築に深く関わるキャリアコンサルタント		
社会正義を志向するキャリアコンサルタント (格差、不平等、貧困等の問題への取り組みなど)		

問5 キャリアコンサルタントの今後の活動として、以下の事柄を、どの程度、重視しますか。あてはまるものに1つ○をつけてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	かなり重視する	やや重視する	どちらとも言えない	あまり重視しない	ほとんど重視しない
組織開発(人と組織に働きかける活動)					
労働市場情報(求人情報等の労働市場情報の提供等)					
ミドルの人材育成(意欲やモチベーションの維持等)					

VIII. 自由記述欄

問1 キャリアコンサルタント(国家資格)の登録制度について、どのようにお感じになりますか。良い点や課題などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

<600文字以内>

問2 本調査を通じて気づいた点や、キャリアコンサルティングの推進やキャリアコンサルタントの活動に対する支援策等に関し、ご意見・ご要望等を自由にお書きください。(自由記述)

<600文字以内>